

## 【平成 30 年 3 月】

### 地域を支える仕組みづくり

#### 平成 30 年度第 7 回地域支援コーディネーター意見交換会を開催しました。

平成 31 年 3 月 18 日（月曜日）午後 1 時 30 分から大崎市役所北会議室 2 階にて「平成 30 年度第 7 回地域支援コーディネーター意見交換会」が開催されました。

今回の意見交換会では、大崎市社会福祉協議会を講師にお招きして「大崎市社会福祉協議会の取り組み」について情報提供をいただきました。

これまで、市内のコーディネーターが社会福祉協議会と連携してそれぞれの活動に取り組んできましたが、知っているようで知らなかった取り組みを知ることができた意見交換会となりました。参加したコーディネーターからは「さらに連携するためにも社会福祉協議会の取り組みを知ることができてよかった。」「もっと連携して取り組める場面があるかもしれない。」という感想がありました。

#### 東大崎地区公民館にてキットを活用して助け合いの大切さを再認識しました

平成 31 年 3 月 28 日（木曜日）午後 2 時から東大崎地区公民館にて東大崎地区の婦人会員の方 13 人とニーズと担い手の掘り起こしキットを活用し「自分が困っていること」から地域の課題の掘り起こしを行いました。

今回は 2 グループに分かれて自分自身が今困っていることをカードから 3 枚を選びました。特に多かったのは「草むしり」「包丁を研ぐ」「肩たたきやマッサージ」「電球の交換」でした。

参加者からは、「ゲーム形式なので困っていることが話しやすい。話し合うことの大切さを感じた」などの感想がありました。

#### 岩出山地域づくり委員会主催で全住民アンケート実施報告及び座談会が開催されました

平成 31 年 3 月 31 日（日曜日）午後 1 時から岩出山公民館（スコーレハウス）2 階にて岩出山地域づくり委員会主催で「平成 30 年度住民アンケート実施報告及び座談会」が開催され約 40 名の地域住民が参加しました。

岩出山地域づくり委員会からアンケートの実施報告後に NPO 法人都岐沙羅パートナーズセンターの方を講師にお招きして、「アンケートを効果的に分析していく方法」について講話を頂きました。講話後のグループワークでは「自分の地域のアンケートの集め方は区長と連携して行った。」「区長との連携の重要さに気づいた。」というそれぞれの親交会の特徴等について話し合われました。

## 医療と介護の連携

### おおさき地区医会連ネットワークが開催されました

平成31年3月7日（水曜日）午後6時30分から大崎市医師会にて「おおさき地区医会連ネットワーク 平成30年度第2回運営委員会」が開催され、市内の医師や行政が18名参加しました。

今回はMCS（メディカルケアステーション）の利用状況や大崎市民病院の入退院に関する情報共有のための取組みについて報告後に「在宅医療の提供体制に求められる4つの場面（入退院支援・日常の療養支援・急変時の対応・看取り）に応じた機能を円滑にするための情報提供の在り方を考える」というテーマで協議が行われました。

### 大崎市多職種連携研修会を開催しました

平成31年3月13日（水曜日）午後6時30分からパレットおおさき多目的ホールにて「大崎市多職種連携研修会」を開催し、市内の医師・歯科医師・薬剤師・理学療法士等の医療介護従事者が約100名参加しました。

この研修会は在宅医療・介護の推進に向け、住み慣れた地域で暮らす高齢者の自立支援・重症化防止・生活支援をより効果的に行えるように開催しており今回で2回目となります。

今回は大崎市医師会長 近江医院 院長 近江徹廣氏により「多職種が一体となって地域で支えるということ～情報共有・役割分担の重要性とは～」というテーマで講話を頂いた後に「事例を通して多職種の役割を理解する」ことを目的にグループワークを実施しました。

参加者からは「詳しく知らなかった多職種の方々の仕事内容に触れ、相互に紹介や連携をしやすくなった。顔の見える関係を増やしていきたい。」「多職種での意見交換の場に参加できて大変勉強になりました。」という感想がありました。

